

佐野市景況レポート

平成29年4～6月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成29年4～6月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、204社(回答率70.34%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

今期の景況感は改善、先行き改善を見込むも労働力の確保が課題

1. 平成29年4～6月期実績

全業種業況DI指数は▲8.5、前期(3月期)比+5.7ポイントと業況が4期(H28/7～H29/6)連続改善しました。利益DI指数は▲18.0(前期比+5.6)、売上高DI指数は▲9.8(前期比+5.4)と、業況と同様に4期連続改善しました。また、全業種設備稼働DI指数は▲2.2(前期比+0.2)と比較的高い水準であることから、業況は改善していると言えます。一方、労働力全業種DI指数は▲22.9(前期比▲2.1)と、この10年間で最も労働力が不足している数値を更新しました。

2. 平成29年7～9月期見通し

全業種業況DI指数は▲9.1(前期比+5.9)と、今後3か月間の業況改善を予想しています。予想売上高DI指数は▲8.9(前期比+6.3)、予想仕入価格DI指数は14.8(前期比▲2.5)、販売価格DI指数は+0.4(前期比+4.5)です。平成29年7～9月期の見通しは、売上高増加と仕入価格低下等による業況改善を予想しています。

3. 事業所の景況コメント

「好業績」「販売価格への転嫁」などのコメントがでており、薄日が差してきた事業所もみられます。一方、前期と同様に「人手不足」「夏場対策」「地方の景気低迷」「低価格志向」等のキーワードが挙げられており、依然、厳しい景況感が窺えます。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (平成29年4～6月期)		見通し (平成29年7～9月期)	
業 況	▲8.5	☁	▲9.1	☁
売 上 高	▲9.8	☁	▲8.9	☁
販 売 価 格	▲3.6	☁	0.4	☁
仕 入 価 格	20.7	☔	14.8	☔
労 働 力	▲22.9	☔	—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格はDI値
をマイナス評価

☀	☁	☁	☔	☔
晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲8.5、前期比 5.7 ポイント改善

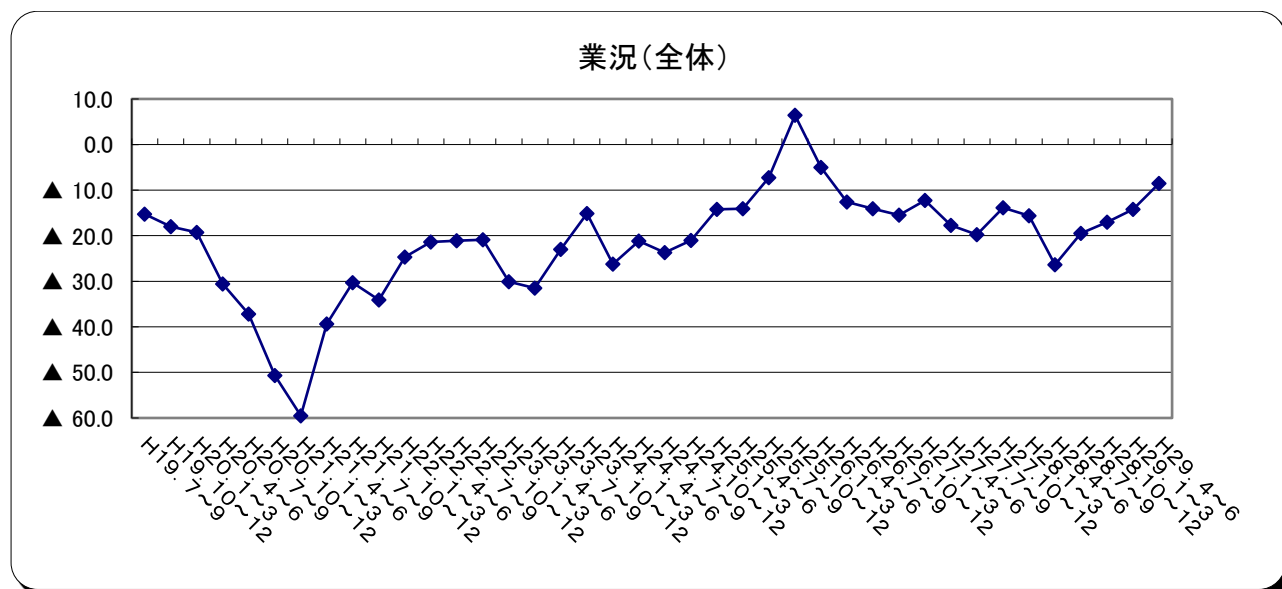
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①建設業 16.7 ポイント、②設備業 6.1 ポイント、③その他の製造業及び卸売業、サービス業 0.0 ポイント

天気図



良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 20.7、前期比 5.0 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①飲食店 51.2 ポイント、②建設業 42.9 ポイント、③小売業（飲・食料品）33.3 ポイント、④機械・金属製造 29.3 ポイント、⑤サービス業 25.4 ポイント

天気図



上昇
↑
下落



☆ 売上高について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲9.8、前期比 5.4 ポイント上昇

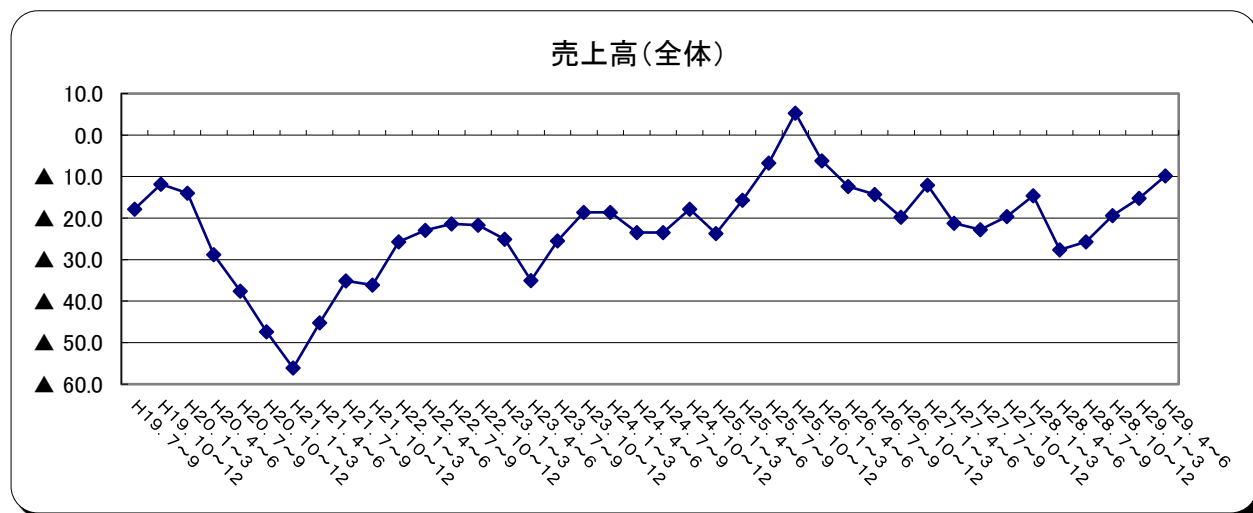
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業 25.7 ポイント、②卸売業 14.3 ポイント、③機械・金属製造業 3.6 ポイント、
④飲食店▲7.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲11.4 ポイント

天気図



増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲3.6、前期比 1.6 ポイント低下

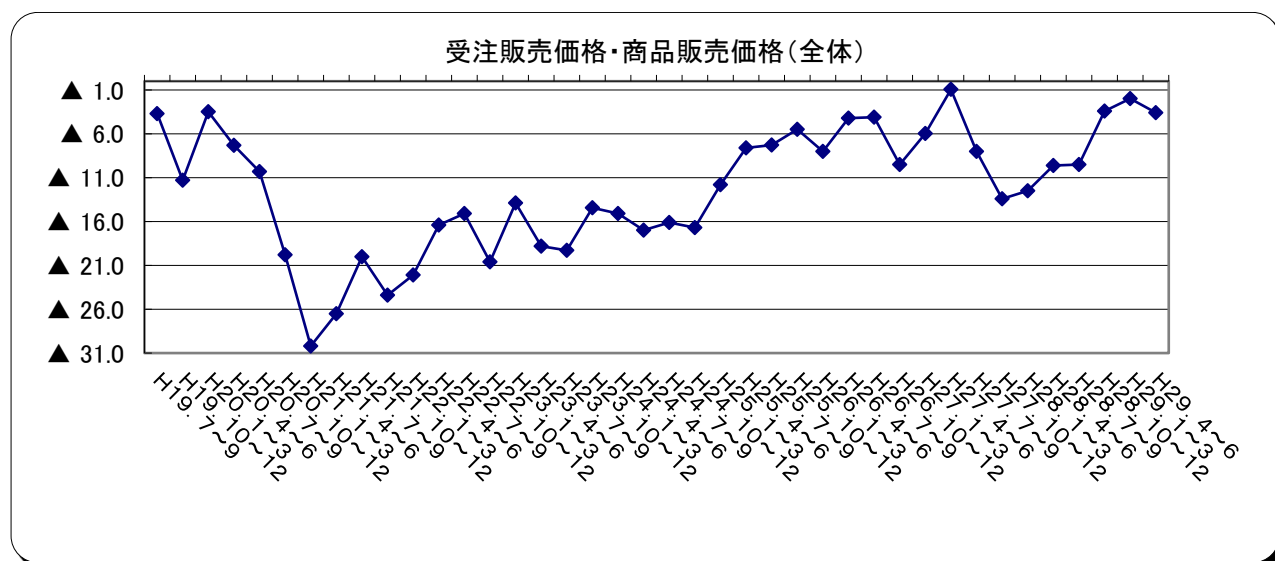
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品）7.7 ポイント、②建設業及び設備業、食品製造業、その他の製造業、飲食店、サービス業 0.0 ポイント

天気図



上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 2.3、前期比 0.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 27.3 ポイント、②化学・プラスチック製造業 17.6 ポイント、③卸売業 13.6 ポイント、④小売業（飲・食料品）7.7 ポイント、⑤機械・金属製造業 6.8 ポイント

天気図

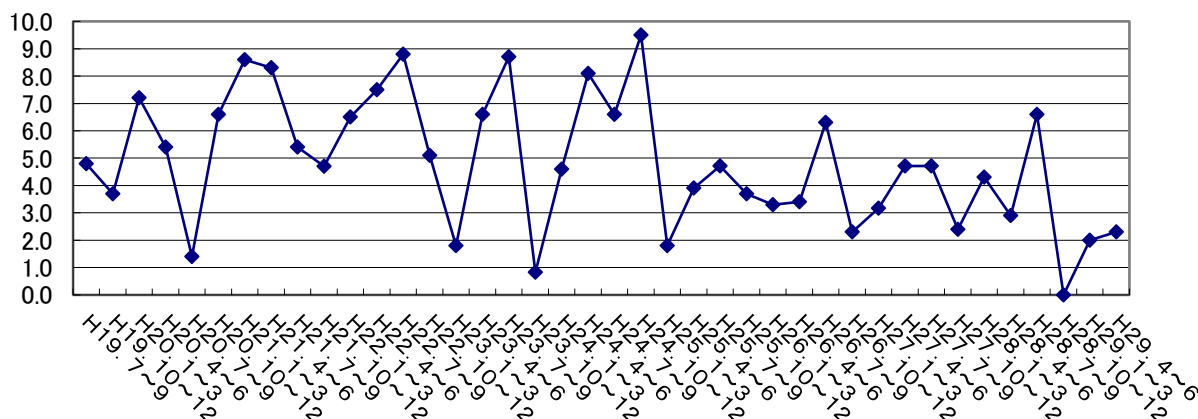


過大



不足

製品（材料）・商品在庫（全体）



☆ 利益状況について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 ▲18.0、前期比 5.6 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①建設業 8.1 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業 ▲7.5 ポイント、④サービス業 ▲10.7 ポイント、⑤設備業 ▲13.0 ポイント

天気図

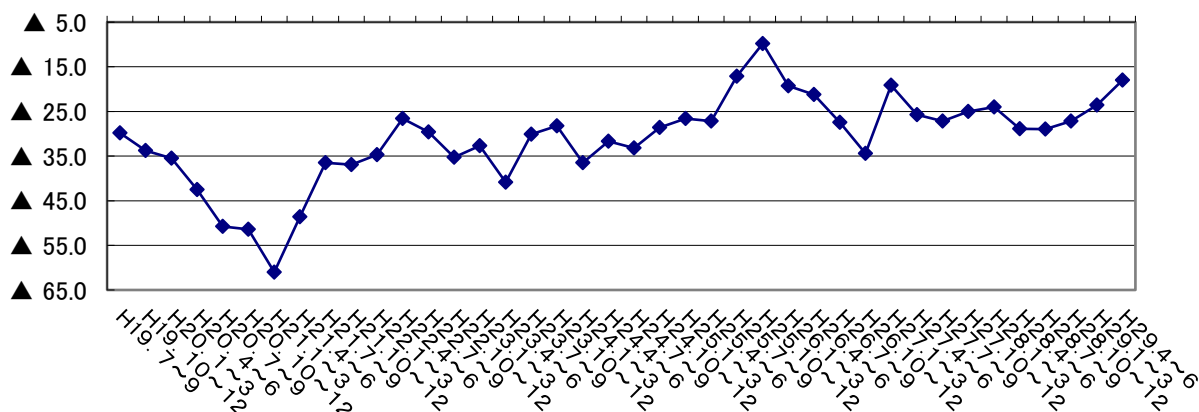


増加



減少

利益状況（全体）



☆ 資金繰りについて（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲13.2、前期比 1.6 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 13.0 ポイント、②卸売業 6.4 ポイント、③機械・金属製造業▲3.6 ポイント、④繊維品製造業▲6.4 ポイント、⑤建設業▲7.7 ポイント

天気図

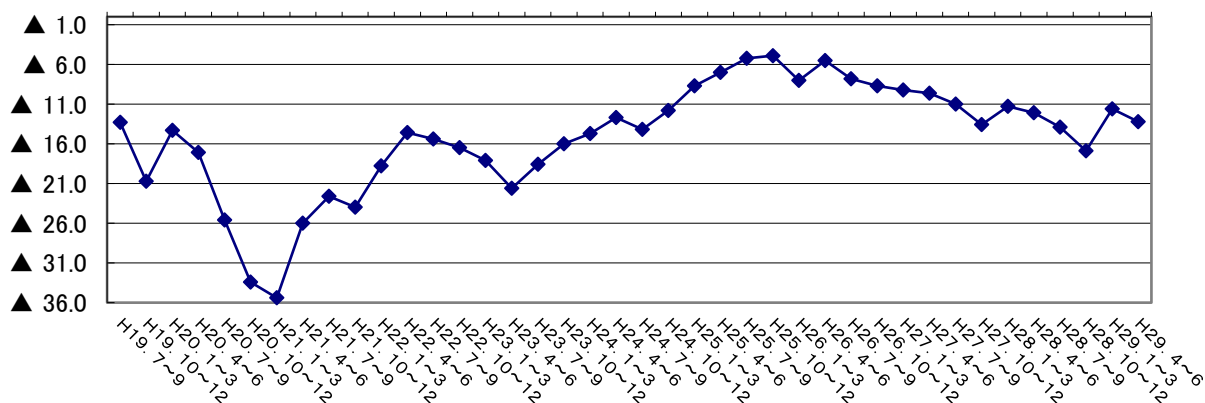


楽



苦しい

資金繰り(全体)



☆ 労働力について（平成 29 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲22.9、前期比 2.1 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 13.6 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業▲14.0 ポイント、④小売業（飲・食料品）▲16.7 ポイント、⑤その他小売業（大型店を含む）▲17.6 ポイント

天気図

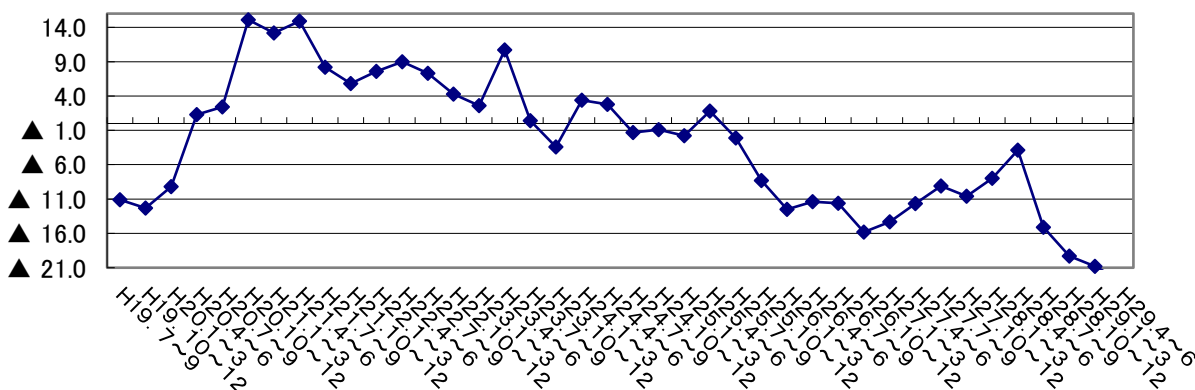


過剰



不足

労働力(全体)



☆ 設備稼働率について（平成 29 年 4～6 月期実績） （建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲2.2、前期比 0.2 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

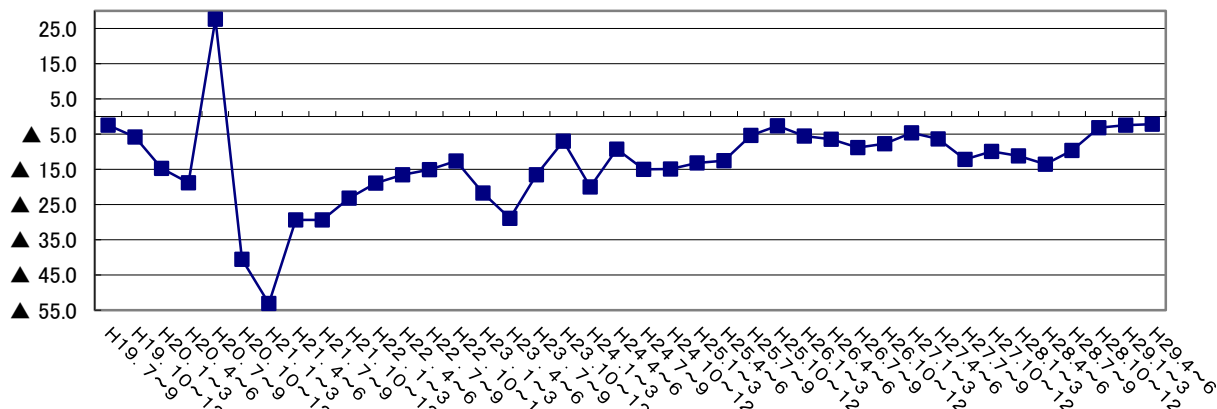
- ①建設業 15.8 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業▲3.5 ポイント、④食品製造業▲4.8 ポイント、⑤設備業▲5.9 ポイント

天気図



高い
↑
低い

設備稼働率（建設・設備・製造業）



☆ 販売経費について（平成 29 年 4～6 月期実績）（商業・サービス業関係）

全業種 DI 指数 9.4、前期比 10.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

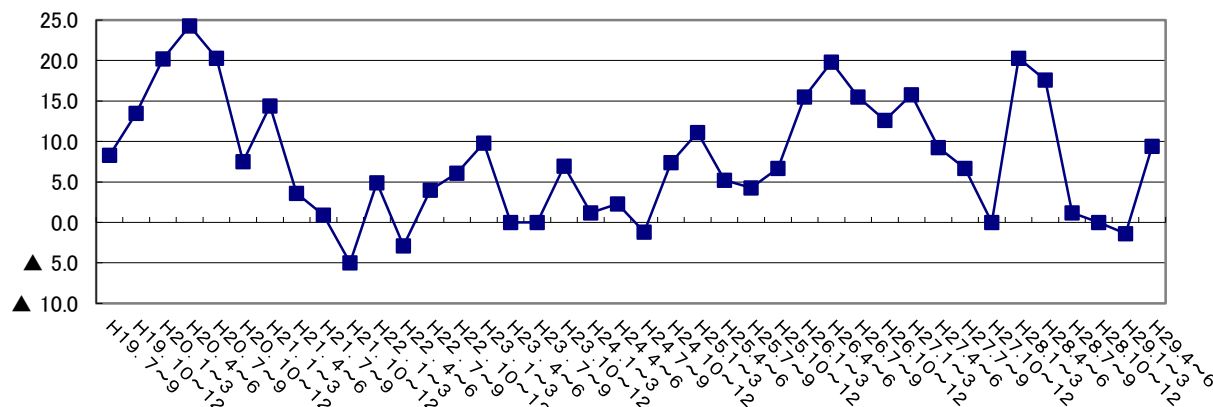
- ①卸売業 27.3 ポイント、②小売業（飲・食料品）24.3 ポイント、③飲食店 13.0 ポイント、④サービス業 4.9 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲9.1 ポイント

天気図



増加
↑
減少

販売経費（商業・サービス業）



☆ 今後3ヶ月先（平成29年7～9月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲9.1、前期比5.9ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

①建設業 16.7ポイント、②その他の製造業 14.3ポイント、③化学・プラスチック製造業 7.1ポイント、④サービス業 0.0ポイント、⑤飲食店▲7.3ポイント

天気図

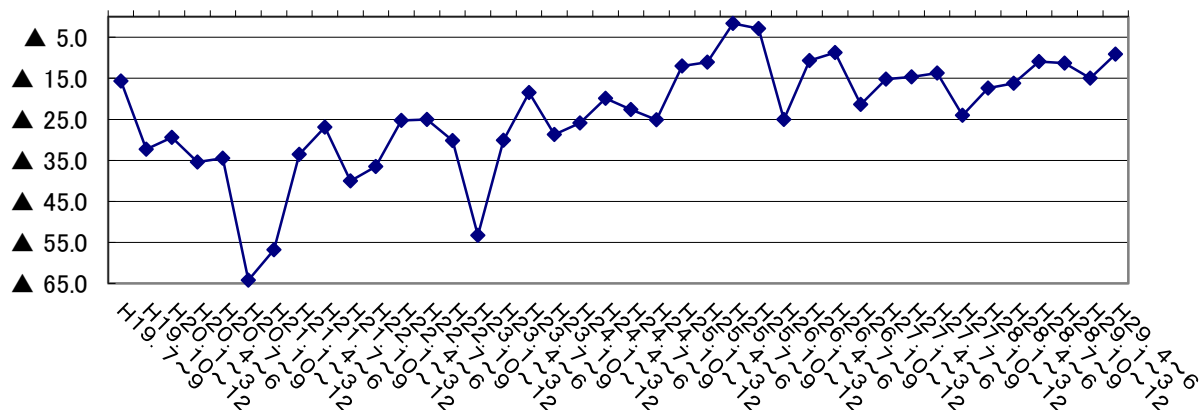


良い



悪い

業況予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成29年7～9月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲8.9、前期比6.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

①化学・プラスチック製造業 19.0ポイント、②建設業 16.7ポイント、③その他の製造業 14.3ポイント、④卸売業及びサービス業 0.0ポイント

天気図

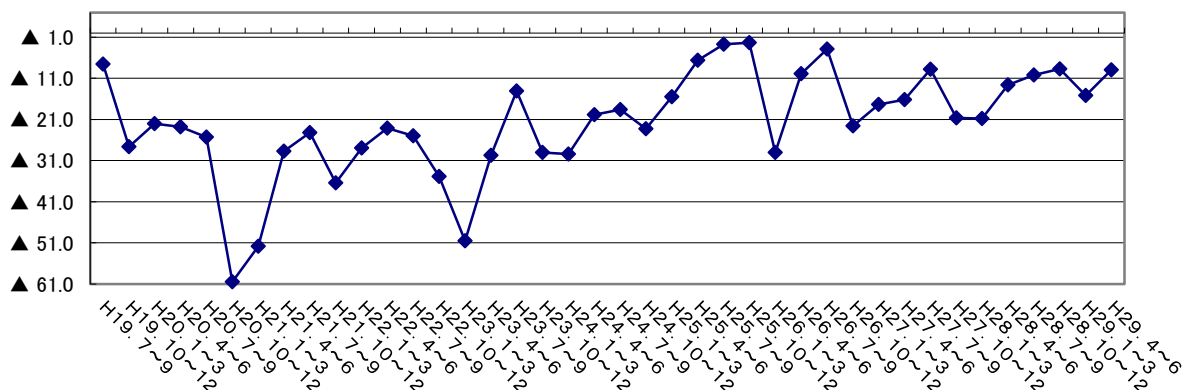


良い



悪い

売上高予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成29年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 14.8、前期比 2.5 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①飲食店 42.9 ポイント、②繊維品製造業 31.9 ポイント、③サービス業 25.4 ポイント、④機械・金属製造業 24.7 ポイント、⑤卸売業 20.0 ポイント

天気図

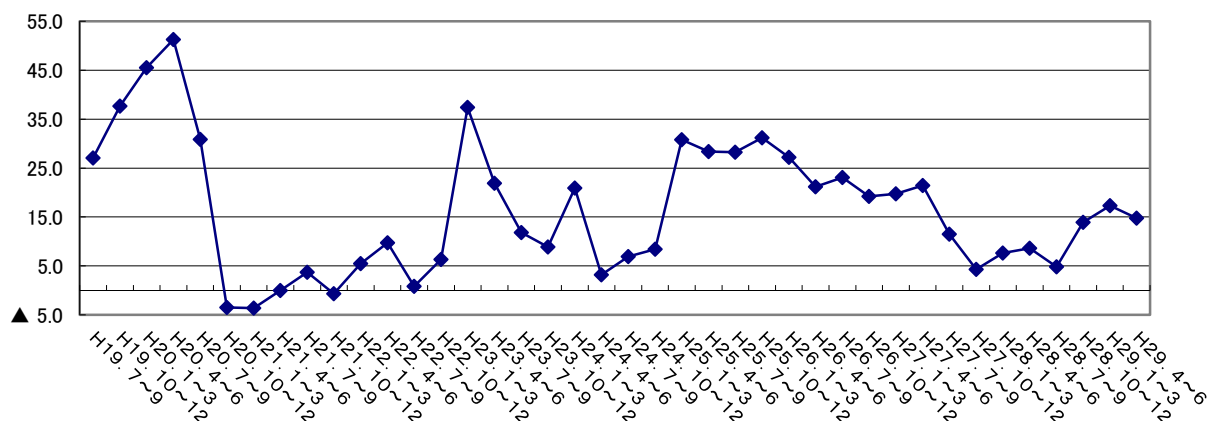


上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成29年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 0.4、前期比 4.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品） 15.8 ポイント、②飲食店 13.0 ポイント、③機械・金属製造業 10.3 ポイント、④建設業 7.7 ポイント、⑤設備業 5.9 ポイント

天気図

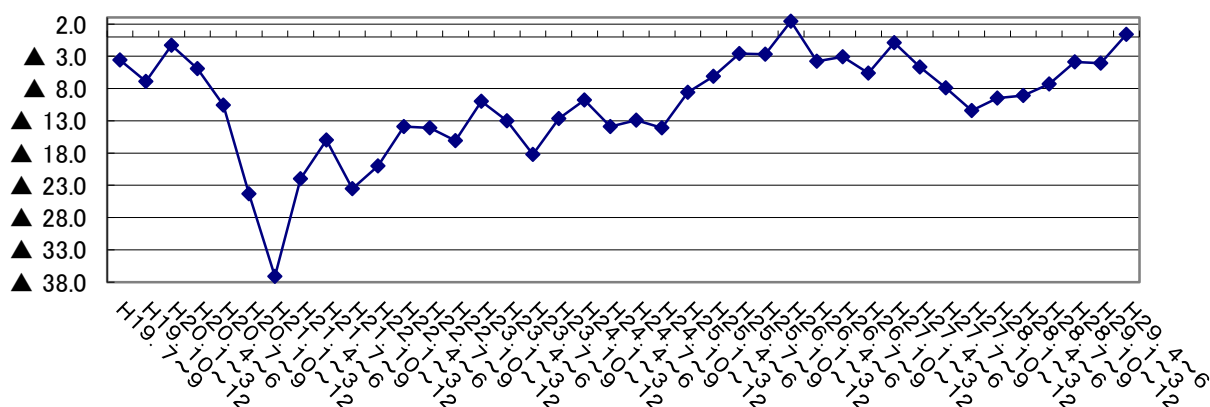


上昇



下落

受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・コメントなし

設備工事業

- ・コメントなし。

繊維品製造業

- ・試作や開発などの要望がより高度化してきている。
- ・他の同業者も同じく売上げ減少との事であった。今後に期待している。

食品製造業

- ・夏場の暑い時をどう乗り切るのが勝負です。街中は空地、空店舗が増えていて、なかなかいい方向に望めませんねえ。
- ・毎年の事だが6月はいつも良くない。4月からの新年度に出費が多いためか。これからに期待したい。
- ・景気って良くなっているのでしょうか？実感はありません…。政府はもっと中小企業の意見を聞くべきだ。
- ・民間企業と行政とで温度差を感じる。よそから来た企業には色々と手厚く、長年地場にいる企業が新しいことをやろうとしても、非協力的、かつ、興味も示さない。太田、足利の話を聞くと佐野の行政はやる気がないと感じる。個人的には、行政のやる気、耳を傾け、実践する行動力が高まると、更に市内の景気は良くなるのだが…。

機械・金属製品製造業

- ・遅くなって申し訳ありません。受注が少ない。大きな設備をする所がない。
- ・鉄鋼メーカーの値上り要請が強いが、市況は一服状況。流通は値上げ分の転嫁が出来ず採算の確保が大変。
- ・景気低迷！！いつまでこの状況が続くのでしょうか？国会では、強引すぎる決議をして、大人として恥ずかしくないのかと思います。もう少し国民サイドでやっていただきたいと思います。
- ・12は現在交渉中ですが、場合により上昇する懸念あり。
- ・売上は7月以降減少する見込み。
- ・地方の中小企業は下請けの仕事が大半で今後も厳しい状況が続くと思われる。
- ・以前の好業績よりは現在落ち着いている状態であるが、営業利益は確保している。
- ・テロの被害にあったイギリス国民が難民受け入れを嫌ってEU離脱を決めたことは理解できます。しかしその影響で為替が動き景気に悪影響があるとすれば容認できない。テロリストを許すな！
- ・主材料の値上り分を販売価格に転嫁できつつありますが、収益の面では、やはり中小企業は苦しい状況が続いています。

化学・プラスチック製品製造業

- ・引合物件数、客先数は増加気味だが、実際の受注数は多少減少（数が多いが内容が低価格、小物件）気味。
- ・先行き不明。
- ・夏の天候、気温により売れ行き左右。
- ・今後の状況は変動が大きくわからないのが現状。

その他製造業

- ・先々の不透明感が強い。地域格差が大きい。東京都心はまずまずだが、大宮以北は低調。

卸売業

- ・内閣府では、景気は緩やかに回復しているとの見方であるが、大都市圏内の話としか思えず、地方では所得も大きく上昇していないので、消費者意識はあまり高くないと思われる。
- ・景気は全体的にもちあい。

小売業（飲・食料品）

- ・御客様は少しでも省エネで単価が安いものを求める、今はそんな考えが強いように思われます。
- ・これから、お盆、夏休み、秋彼岸と人の動く時期。これに期待しております。
- ・5月の連休を過ぎると極端に売上は落ち込みます。暑い夏が終るまで、売上は落ち込んだままです。夏に売れる商品の開発を考えているが良いアイデアが出ない。
- ・円安で値上がりした材料がいつになっても値下がりしないので大変困っている。

その他の小売業（大型店含む）

- ・5月はギフトの注文が多くてひさしぶりに多忙でした。
- ・販売価格はかわらずだが、客足が悪い。さらに気温が高くなると、来店はさらに減る。
- ・4～6月期に関して、大きなトピックスはアピタ館林店の閉店が上げられます。大きな割引で、かなりの客数に影響があったと思われます。
- ・消費人口の減少。

飲食店

- ・売上は前年同期を上回っているものの、人手不足による人件費の増大、材料費の相変らず上昇によって、利益の減少が続いています。
- ・仕入が上昇し、消費税もかかってくるから値上げしました。
- ・県外の方々が徐々に増加する中、市内のお客様が減少。
- ・特に何も感じておりません。
- ・これから秋までの期間、売上が減少する傾向にあります。今年はさらに悪くなるような気がします。
- ・こここのところ非常に悪い。

サービス業

- ・土地建物等の不動産関連は個人法人問わず、動きが増えています。金額面の条件さえ合えば、売り手買い手共にチャンスとなっています。
- ・年度末が工期の物件が多い為、仕事量が多い。但し、利益率低い為、業況は良くならない。
- ・4月頃から、売上げ、客数が減少し先行が不安です。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成29年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

- | | |
|---------|-----|
| ① 建設業 | 25社 |
| ② 設備工事業 | 21社 |

(2) 製造業

- | | |
|------------------|-----|
| ① 繊維品製造業 | 22社 |
| ② 食品製造業 | 18社 |
| ③ 機械・金属製品製造業 | 40社 |
| ④ 化学・プラスチック製品製造業 | 36社 |
| ⑤ その他の製造業 | 22社 |

(3) 商業・サービス業

- | | |
|------------------|-----|
| ① 卸売業 | 15社 |
| ② 小売業（飲・食料品） | 23社 |
| ③ その他の小売業（大型店含む） | 27社 |
| ④ 飲食店 | 19社 |
| ⑤ サービス業 | 22社 |

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所

※この統計調査は、「平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業」として実施したものです。